

『自らの生き方を創る子どもの育成』～1人ひとりの個性を生かす教育の推進～



No.14 2025. 7. 3 校長 川上 誠治

**PTA会長をはじめPTA役員
保護者、地域のみなさんのおかげで
子どもの安全を第一にして、
フェニックスを残すことができるよう
になりました！！**



いつもありがとうございます。

感謝しています。

6月21日(土)のフリー参観のときに5人の保護者から次のように言われました。

校長先生！！ フェニックスを切るって本当ですか？



校長先生！！ 私は佐野台小学校出身です！！ フェニックスを何とかできないのでしょうか？



校長先生！！ フェニックスは佐野台小学校の象徴です！！ フェニックスを残してほしいです！！



子どももボクのところのきて次のように言いました。

校長先生！！ フェニックスを切るのではなく、別のところへ移動することはできないのですか？



20年前にボクは泉佐野市で教師をしていたことがあります。その時に何度か佐野台小学校に来たことがあるのですが、フェニックスは覚えているのです！！

そして4月に佐野台小学校に着任するとわかったときに一番最初に思い出したのがフェニックスなのです！！

4月に着任して、工事の関係でフェニックスを伐採するときいたときになんとか残せないのか？と考えました。確か第一回PTA役員会でこのフェニックスの話をしたときにPTA役員さんも伐採することを知らなくて、なんとか残す方向で話をすすめることにしました。

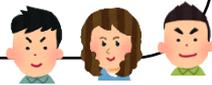
市に何度も問い合わせました。市は本当にていねいに対応してくれて、最後には業者さんを連れてきてくれて、子どもの安全(救急車・消防車が入るように)を考えると伐採するしかない…と説明してくれ、ボクも納得するしかありませんでした。

ただなんとかあのフェニックスは残したいので、写真を撮って大きく引き伸ばして掲示すること、新しくフェニックスを植え替えることを考えていました。また、昭和57年の記念植樹なので、昭和57年の関係者を探して、説明させて

いただこうと考えていました。

6月18日か19日にPTA会長さん、PTA副会長さん、PTA書記さんから次のように言われました！！

校長先生！！子どもの安全が一番なのはその通りですが、フェニックスは佐野台小学校の象徴です！！ホームページのトップページもフェニックスです！！最後の最後までフェニックスを残せるよう市と交渉しませんか？



そしてPTA役員さんが造園業者さんを連れてきてくれて、移植の可能性を考えてくれました(移植したとしても根がつく可能性が低く…移植はムリと判断しました)。

次にPTA役員さんは次の可能性を考えてくれました。それはフェニックスを囲っている円を小さくすることを考えてくれました(そうすることで消防車、救急車が入ることができます！！)！！この案を市に提案したのですが、業者が根を傷つけることになって、フェニックスを枯らすことになる可能性があるのでできないと断られました！！

次に…子どもの安全を第一に、フェニックスも残せるように本当にいろいろなアイデアを出してくれました！！

最後の最後の最後には伐採するしかないとなっても、フェニックスの幹でイスを削って残そう！！というアイデアまで考えてくれました！！

また、地域の方もフェニックスを残すために動いてくれていたのです(昭和57年の記念植樹なので地域の方にもお伝えしていたのです。そしてフェニックスを残せるように動いてくれていたのです！！)！！

PTA(保護者)、地域のみなさん、学校がひとつ(佐野台小学校の大切にしている絆かもしれません！！)になって市に問い合わせると、市はていねいに対応してくれて子どもの安全を第一に考えたうえで、フェニックスを残すことができるようになったのです！！

PTA会長さんをはじめPTA役員のみなさん、そして保護者のみなさん、さらに地域のみなさんのおかげです！！本当にありがとうございました！！感謝しています！！

校長チャレンジNo.8(答え)

